

# 宮崎県立児湯るびなす支援学校



高等部棟

所在地：〒889-1401 宮崎県児湯郡新富町大字日置 1297 番地

電話番号：(0983) 33-4207 FAX 番号：(0983) 33-5642

ホームページ：http://www.miyazaki-c.ed.jp/koyu-sh/index.htm

## 1 在籍者数、学級数 (平成30年5月1日現在)

	小学部 学級数：11	中学部 学級数：5	高等部 学級数：7	訪問教育学級 学級数：11			総計
				小学部	中学部	高等部	
男	23	7	16	1	1	9	57
女	8	5	10	1	0	11	35
計	31	12	26	2	1	20	92

## 2 学校の概要

本校は、昭和54年4月に、県立富養園に入院していた情緒障がいのある児童生徒を教育する病弱養護学校として開設され、長い間「病弱教育」に携わってきましたが、平成22年度より「知的障がい教育・肢体不自由教育特別支援学校」へと移行しました。平成25年度に、高等部が新設され、自校給食も始まりました。

また、西都・児湯地区唯一の特別支援学校としてセンター的な役割を担おうと、特別支援教育チーフコーディネーターを中心に地域の幼稚園や保育園、小・中・高等学校の職員を対象とした各種の研修会を開催したり、巡回相談を行ったりしています。

## 3 教育目標

主体的・積極的な社会参加や社会自立の基盤となる「生きる力」を培い、豊かな人間関係を築くことができる心身ともに調和のとれた人間の育成を図ることを学校の目標としています。そのために、一人一人の障がいの特性と心身の発達に応じたきめ細かい支援、指導を行います。

## 4 各学部の紹介

### (1) 小学部

小学部では、障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服するための学習（自立活動）を基盤に、一人一人の実態に応じた教育を進めています。児童の障がい特性や興味・



【自立活動】

関心、保護者との個別面談等をもとに指導計画を立て、目的に応じて個別、グループ、学部全体で学習を行っています。

## (2) 中学部

中学部では、さまざまな生活体験学習を通して、社会生活に必要なスキルを高めることを目指して学習を進めています。生活に必要な国語や数学などの教科学習の他に、将来の社会的・職業的に自立できる生徒を育てることを目標とした「作業学習」が始まります。作業学習は、週6時間行っており、就労意欲や労働体力を高める大切な活動となっています。また、学校行事や日々の中で、集団と個の学習グループを編成することで、自主性や持続してがんばる力、友達と協力し合う力を育てています。



【運動会】

## (3) 高等部

高等部も、通常学級と重複障がい学級があり、それぞれに応じた教育課程があります。通常学級は単一障がい（知的障がいのみ）の生徒を対象とした学級であり、卒業後の生活や就労、余暇の充実を目指した授業が主となります。重複障がい学級は2つ以上の障がい（知的障がいと肢体不自由など）のある生徒を対象とした学級です。高等部では、小・中学部で学んできたことをさらに充実させ、将来の生活に必要な知識、技能、態度及び習慣を養います。また、生徒の特性に応じた適切な進路指導を行い、「作業学習」や「現場実習」等を通して、将来、社会的・職業的に自立できる生徒を育てます。作業学習は、週11時間行なっています。



【作業学習】

## (4) 訪問教育学級

体調等によって通学が困難、及び国立病院機構宮崎病院に入院している児童生徒に対して、学校から家庭や病院を訪問して授業を行っています。児童生徒の全人的な発達を促すため運動機能、感覚機能、コミュニケーション能力等の向上を図る自立活動を主に指導しています。



【訪問教育学級始業式】

## 5 卒業生の進路先

高等部が開設して6年目となり、これまでに3回の卒業生を送り出しました。各生徒の実態に応じて現場実習を始めとした進路指導を行い、卒業後に豊かな生活が送れるよう努めています。また本校では、卒業後の「定着支援」にも力を入れております。卒業後5年間は、進路先である企業や障がい者福祉施設等に定期的に訪問し、進路先の方と情報交換を行いながら定着を目指します。以下は、過去3年間の主な進路状況です。

進路先	一般就労	就労継続	移行移	就労継続	生活	自立	入所	その他	計
		支援 A 型	行支援	支援 B 型					
H27	2	0	3	1	1	1	6	0	14
H28	1	2	3	0	2	1	17	0	26
H29	0	0	2	1	5	1	1	0	10